

社協だより ほほうえみ

2022.2
No.86

新ひだか町社会福祉協議会 ☎0146-43-3121 E-mail●shinhidaka@sh-shakyo.jp URL●http://shinhidaka-shakyo.or.jp/

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族ともども新しい年をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。

近年、少子・高齢化や新型コロナウイルス感染症により、なお一層地域のつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境も変化してきています。

また、三年後の二〇二五年には団塊の世代が後期高齢者になる時期にあたり、これからの地域福祉を推進していくためには、なお一層地域住民のニーズやあらゆる生活課題への対応と地域共生社会の実現に向けた施策・制度に主体的かつ積極的に関わり事業展開を進めていく必要があります。

新ひだか町社会福祉協議会では、令和四年度から五カ年間の地域福祉実践計画を策定中でございますが、基本理念は、『一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域づくり』と愛称『つながり』とした小地域ネットワーク事業を基軸に地域における生活支援を展開し、地域住民と連携を図りながら、コロナ禍においても安心して地域で暮らすことのできる地域共生社会と災害ボランティアセンター設置運営強化を目指し役職員一丸となつて取り組んでまいります。

地域住民の皆さまのご支援ご協力を心からお願い申し上げます、新年を迎えてのご挨拶といたします。



社会福祉法人

新ひだか町社会福祉協議会

会長 木村 春夫

災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書締結

12月24日に新ひだか町と社会福祉協議会で協議を進めていた「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書」の締結をしました。

この協定は、新ひだか町地域防災計画に基づき新ひだか町災害ボランティアセンターの設置及びそれに伴うボランティア活動を円滑に実施するために、新ひだか町と社会福祉協議会の果たすべき役割と協力事項、費用負担等を定め、被災者の生活支援に寄与することを目的としております。

大野町長からは「災害がいつ起きるかわからない中で、災害ボランティアの窓口設置は大変ありがたい。町も連携しながら円滑に進めていきたい。」

また、木村会長からは「全国で大規模災害が多く発生しており、町と連携し、町民の安心のため、災害ボランティアセンター設置運営の強化に努めてまいります。」

それぞれのご挨拶がありました。



令和3年度新ひだか町社協G S W研修会

(共催：新ひだか町障がい者自立支援協議会)

少子高齢化、家族形態の変化、地域社会の希薄化など社会環境がめまぐるしく変化する昨今、虐待や困窮、ネグレクトや支援拒否など多面的な支援を必要とするケースが年々増加している中で、多職種間と地域住民との連携を深め、地域資源の開発や連携をすすめていくことがどの分野にも求められています。福祉専門職を対象に、支援を展開する上での視点や価値について学ぶとともに、課題を抱えている当事者と支援者の関係性や、各支援機関の連携のあり方について再考することを目的として、10月・11月に開催しました。一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原辰二氏にアドバイザーとして参加していただいています。

【第1回】 『生活緊急SOS支援事業・生活緊急SOS備品レンタル事業の活用』

平成26年から当法人の総合生活支援センター事業の一環として実施されている両事業の概要や、相談から申請までの流れを担当者より説明させていただきました。後半には事例を基にグループディスカッションを行い、支援する上での悩みや思いを支援者同士共有しています。



【第2回】 『個別支援から地域支援への展開～野中式事例検討より学ぶ～』

愛知県半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山憲一氏よりZOOM配信により出演いただき、野中式事例検討について学びました。アセスメント方法や、“困っている人”の支援を全体で取り組み、地域資源開発を展開していく視点や、地域住民と協働していくためのポイントを学びました。後半には事例を基に個人ワークを行い、アドバイザー進行のもと発表する場も設けられました。



G S Wとして誰もが人として尊重されながら、社会から孤立せず暮らすことができる地域社会の構築を目指すと同時に、地域の皆さんも住民同士で支え合える環境、関係づくりを一緒に目指しましょう。

G S Wとは・・・ジェネラリストソーシャルワーカーの略。複合的な課題に対応し横断的な相談支援体制の構築を目指す、高齢・障がい・児童などの分野を超えた専門職。

新ひだか町社協第6期地域福祉実践計画（案）に係る パブリックコメントの募集について

新ひだか町社会福祉協議会では、令和4年から令和8年までの第6期地域福祉実践計画を策定します。計画策定にあたり、広く住民の皆さんの意見をいただく機会としてパブリックコメントを募集します。

閲覧方法／新ひだか町社会福祉協議会本所・三石事務所、
社会福祉協議会公式ホームページでご覧いただけます。

提出方法／郵便、または持参、FAX、電子メール

※提出様式は自由ですが、住所、氏名、連絡先をご記入願います

募集期限／令和4年2月4日（金）まで

提出先・問い合わせ／

新ひだか町社会福祉協議会 総務課

〒056-0019 新ひだか町静内青柳町2丁目3番1号

TEL：43-3121 FAX：43-2223

メールアドレス sakai@sh-shakyo.jp

ホームページ <https://shinhidaka-shakyo.or.jp>

「介護予防サポーター養成講座」終了しました！

令和4年度も5月中旬から開催予定！是非ご参加お待ちしております！

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当初の予定通りとはなりませんでした。参加者の皆様には感染予防対策をしていただきながら、全11回無事開催することができました。

講座では、健康や介護予防に関するお話とストレッチ、筋力トレーニングなど運動のプログラムを実践しました。自身の健康や元気な体を維持する意識を高め、人と人とのつながりがイキイキとした生活を創っていくことを再確認しました。

先が見通せない状況が続いていますが、よりよい地域づくりのため、本講座に参加されたサポーターの方々を含め地域の皆様とともに考えていきたいと思います。



〈支え合い仕組み作り事業〉

三石地区独居高齢者宅家庭訪問（消防署三石支署共催）

～令和3年10月26日(火)～



80歳以上の独居高齢者を対象に家庭訪問を行いました。この事業は、消防署三石支署との共催事業で、春と秋の年2回実施。お宅を一軒ずつ訪問し、健康や生活のこと、心配ごと相談ごと等を伺いながら、火災予防・緊急時通報など周知及び確認をする事業です。今回も春に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、社協職員のみで三石市街地に暮らす37名の方のお宅を訪問しました。

高齢者の皆さんは大変お元気で、急な訪問にも笑顔で対応していただきました。体調のこと、普段の生活の様子などお話を聞かせていただき、啓発用のティッシュなどを差し上げると大変喜ばれました。これから寒くなる季節ですので、ストーブなど火の元には十分注意しましょう。





新ひだか町共同募金委員会



今年もたくさんの皆様から温かいご協力をいただき心より感謝申し上げます。皆様から寄せられた募金は下記の通り、様々な福祉事業に活用されます。

<赤い羽根共同募金運動 実績額 3,436,784円 (12月28日現在)>

☆福祉団体・ボランティア団体の活動 ☆障がい者と地域の福祉

☆災害対策 ☆福祉教育 ☆社協広報誌発行

<歳末たすけあい運動 実績額 1,386,616円 (12月28日現在)>

☆歳末見舞金交付事業 ☆住民弔慰事業 ☆白寿祝品贈呈事業

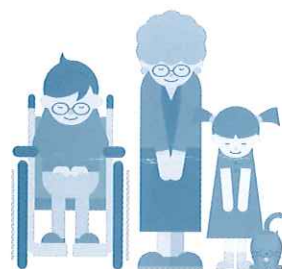
☆備品レンタル事業 ☆安心カンファレンス (SOS事業)



静内幼稚園園児一同様



静内ライオンズクラブ様



皆様のご協力に心より感謝申し上げます

新ひだか町ボランティア連絡協議会主催 研修事業

手話講座2021

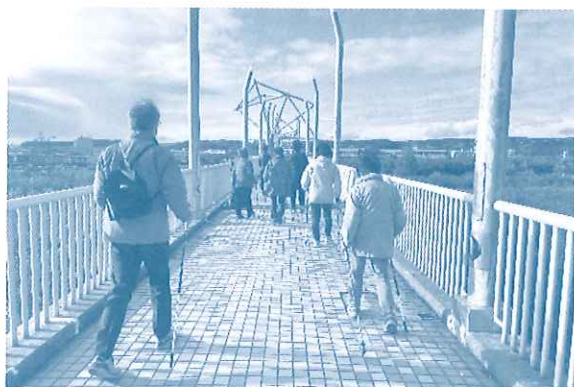
(講師：静内手話サークルたんぽぽ)

10月13日(水)と20日(水)社会福祉会館において、手話講座2021が行われました。第1回目は「手話であいさつ&自己紹介!」、第2回目は「伝わる☆日常生活de手話!」と題して、名前や会話で使える手話を学びました。手話での会話も楽しむことができ、受講者からは「コミュニケーションの幅が広がりとても楽しかった!」と、手話にふれる良い機会となりました。



ボランティア・地域活動実践者のための ノルディックウォーキング体験会

(講師：(株)ファインエイジング 健康運動指導士
長谷川拡介先生)



10月13日(水)公民館、21日(木)社会福祉会館において、ボランティア・地域活動実践者のためのノルディックウォーキング体験会が行われました。両日とも天候に恵まれ、気持ちのいい秋晴れのなか、外を歩くことができました。参加者より「コロナでこのような機会がないので、楽しみができて嬉しい」「ポールを買って自分でもやってみたい」との感想が上がり、楽しんでいただけたようです♪

ご厚志ありがとうございました

♡(株)マルハン マルハン静内店様♡



12月16日、(株)マルハン マルハン静内店様から社会貢献活動の一環として来店客が景品交換の時に寄付したお菓子を町内の福祉施設へのクリスマスプレゼントとして寄贈していただきました。この寄贈は今年で5回目となり、町内の児童館や福祉施設13カ所へお届けさせていただきました。本田マネージャー様からは「地域のおかげで営業できている。地域貢献として福祉施設に届けてほしい。」とお言葉をいただきました。木村会長からは「子ども

たちも毎年楽しみにしています。社会福祉施設に届けさせていただきます。ありがとうございます。」と感謝の意を述べました。

様々な種類のお菓子のプレゼントに施設の皆様が大変喜ばれていました。ありがとうございました。

生活福祉資金貸付制度

「生活福祉資金制度」とは、他の貸付制度が利用できない低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援により、経済的自立と生活の安定を目指すことを目的とした制度です。貸付は下記の4つの種類に分類されています。

①総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援と、生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を受けることにより自立が見込まれる世帯に貸付します。

②福祉資金

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯に対し、日常生活を送る上で、または自立生活に資するために、一時的に必要であると見込まれる費用を貸付します。福祉資金には、「福祉費」と「緊急小口資金」があります。

③教育支援資金

高等学校、大学、短期大学、高等専門学校就学に際し必要な経費「教育支援費」と入学に際し必要な経費「就学支度費」の2つがあります。

④不動産担保型生活資金（不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金）

高齢者世帯や、生活保護を受給されている高齢者や要保護世帯を対象に、今お住まいの居住用不動産を担保に、将来にわたり住居に住み続けるための生活資金をお貸しするものです。

ご厚志ありがとうございました

【寄附金】

寄附月日	寄 附 者 氏 名	寄 附 金 額	寄 附 さ れ た 趣 旨	種 別
8月16日	帰山 薫 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
8月18日	ビッグプラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	ビッグ
8月19日	坂本 由則 様	20,000円	葬儀に際して	一 般
8月24日	蹴揚 定弘 様	50,000円	葬儀に際して	一 般
9月 8日	高橋 義浩 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
9月10日	木村 猛 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
9月22日	塚田 昌克 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
9月22日	ビッグプラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	ビッグ
10月 1日	鳥井 治男 様	20,000円	葬儀に際して	一 般
10月 4日	中城 敏明 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月 4日	高橋 克広 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月 5日	岡田 悦子 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月 5日	西村 信子 様	50,000円	葬儀に際して	一 般
10月 5日	水丸 裕子 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月 7日	山口 俊秀 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月 8日	宮下 慶子 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月13日	手捲 慧子 様	100,000円	葬儀に際して	一 般
10月18日	幌村 輝美 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月20日	ビッグプラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	ビッグ
10月22日	角谷 恵理子 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月25日	浪岡 津吉 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月25日	古沢 秀子 様	35,901円	第4回真歌の丘野外ライブの収益の一部を社会福祉に役立てていただきたい	一 般
10月28日	塚田 峻介 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月28日	原 義博 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
10月29日	寺田 多也 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
11月 1日	小寺 孝二 様	20,000円	葬儀に際して	一 般
11月 2日	若井 乃利子 様	50,000円	葬儀に際して	一 般
11月 8日	小菅 昌子 様	100,000円	葬儀に際して	一 般
11月10日	猪野毛 ミツエ 様	20,000円	葬儀に際して	一 般
11月11日	紺野 猛 様	50,000円	葬儀に際して	一 般
11月17日	ビッグプラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	ビッグ
11月18日	今野 吉仁 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
11月24日	漆原 正道 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
11月26日	芦沢 隆行 様	20,000円	葬儀に際して	一 般
11月26日	林 洋子 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
11月29日	前川 一男 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
12月 8日	吾田 薫 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
12月16日	乾 皆雄 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
12月21日	元木 禎史 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
12月21日	山本 正史 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
12月22日	ビッグプラザボウル 様	20,000円	社会福祉チャリティボウリングの益金として	ビッグ
12月24日	村中 博明 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
12月29日	高橋 直久 様	50,000円	葬儀に際して	一 般
1月 6日	米田 五月 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
1月 6日	佐伯 チヨ 様	30,000円	葬儀に際して	一 般
1月 7日	津幡 隆 様	30,000円	葬儀に際して	一 般

※一 般 … 一般社会福祉事業寄附金

ビッグ … ビッグプラザボウル基金

☆お問合せ・ご相談はお気軽にコチラまで！

社会福祉法人 新ひだか町社会福祉協議会

〒056-0019 日高郡新ひだか町静内青柳町2丁目3番1号

電話 0146-43-3121 FAX 0146-43-2223

■三石事務所 〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町2 1 4 番地の1

電話 0146-32-3355 FAX 0146-32-3355

E-mail : shinhidaka@sh-shakyo.jp URL : http://shinhidaka-shakyo.or.jp/

